

【教育目標】

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 TEL 3399-2196

非認知的能力

校長 香西雅斗

科学と自然の散歩みち沿いの水仙が咲きはじめました。一方、紅葉したかえではまだ散り切っておらず、肌寒いとは言え、厳寒ではなく暖冬であることを感じさせます。

さて、12月9日（日）に行われた杉並区駅伝大会で中瀬中は、男子が3位、女子が5位というこれまでで最高の結果を残しました。今年度中瀬中は、バスケットボール部新人戦で男子が杉並区優勝、女子も3位でともに都大会出場、陸上部は杉並区総合体育大会で男女とも1位で総合優勝、吹奏楽部が東京都中学校吹奏楽コンクール金賞、野球部は春夏杉並区準優勝で夏の軟式野球連盟主催の都大会に出場し都でベスト16、また新チームが小学校PTA主催の野球大会に参加し、杉並区内のチームとして初の3位など、目覚ましい成果を上げています。



<今年はたくさんのトロフィーや楯を獲得しました>



<12分間走ではバディを組んで取り組みます>

中でも杉並駅伝は、陸上部だけでなくサッカー部やバレー部、また外部でスポーツなどをしている生徒が、中瀬中の代表としてチームを組んだ“オール中瀬”の活躍でした。

この活躍は、チームの一人一人が個人としてチームとしての目標をもち真剣に練習し、本番で力を発揮したからであるとともに、当日の応援メンバーの気持ちの良いサポート、そして中瀬中生が運動の得意不得意にかかわらず12

分間走に一生懸命取り組んだすそ野の広がりが、この結果を生んだのだと思います。

これは運動面だけでなく学習面にも言え、勉強の得意不得意にかかわらず学習に一生懸命取り組んでいるすそ野の広がり、結果としてレベルアップにつながっていると思います。その一つの例が、12月8日（土）の道徳授業地区公開講座でした。セカンドハーベスト・ジャパンのCEOマクジルトンさんのお話しをはさみながら、異学年の3～4人組でボランティアについて、自分ができることについて考え話し合いました。体育館で1時間半以上、全校生徒が真剣に取り組む様子に、生徒たちの目指しているレベルの高さを感じさせられました。

中瀬中はこれからも、知っている事やできる事を増やすだけでなく、「目標に向かって粘り強く頑張る力」「周囲のサポートを進んで行い周囲からのサポートを受け入れる姿勢」「辛いことがあっても立ち直り厳しい場面でもリラックスできる精神」などの非認知的能力の向上を目指していきます。

道徳授業地区公開講座

12月8日(土)の1・2時間目は、NPO法人セカンドハーベスト・ジャパンCEO(最高経営責任者)のマクジルトンさんにおいていただき「よりよい社会の実現に努めること」をテーマに、体育館で全校生徒とワークショップを行いました。今回は生徒会役員の下坂君(2D)の提案を生かし、初の試みとして、男女別ですが学年を超えて3~4人のグループで取り組みました。



<マクジルトンさん>

ワークショップは、マクジルトンさんの三つの話「自分についての」「自分にとってボランティアとは」「中瀬中生に伝えたい事」をはさみながら、

- ①「ボランティアをする」とは何をすることなのか？ ②自分にとってのちょっとした一歩って何？ ③マクジルトンさんへのメッセージと質問

を一人一人がワークシートに書き出してから、グループで自分の経験や意見を共有することを繰り返しました。深く考え、話し合い、社会への一歩を踏み出すきっかけとなる大切な時間となりました。

<p>三A 北川 愛帆 立場は関係ない」と思えることも言えることもすごいと思います。相手の気持ちを考えて、自分も自分から何かできるようなにはなっていきたいですが、難しいことです。それでも失敗したら次に生かせるように、何かに取り組んでみるのも悪くないかなと思いました。 ボランティアも人に与えられた自由の一つだと思えます。</p>	<p>三B 西村 光陽 ：ホームレスの人におにぎりを投げるようにしてあげた話がすごく印象に残りました。 自分がすっきりしても、相手がどう思うか分からない。相手が嬉しいと思うことをしなければと思えました。</p>	<p>三C 蓮見 凜 ボランティアをするという事は、新しい自分を見つける事だと気が付きました。：しっかりと周りを見て、自分がすべきことを考え、小さな事から行動し、気持ちを変えていこうと思います。</p>	<p>三D 三輪 雅哉 話を聞いてすごい発見をしました。無理をしない、自分のできることをやる「自分の行動が社会のためにやる、そうしたら新しい社会を開ける」素晴らしいことだと分かった。</p>
--	---	---	---



<p>三C 宮丸 幸士 ：ボランティアは災害の被災地に行き、ガレキを片づけたりするなどと思っていたが、奉仕の精神さえもってれば、どんな小さな行動もボランティアになると分かった。 支え合いがある優しい社会のために頑張っていきたい。</p>	<p>三D 相川 仁有子 ただやるだけでなく、人と関わるといことが、お互いに生きていくうえで必要なことだと分かった。 自分はやっていいと思ってても、それが本当にその人にとっていいのかは分からない。 関わっていくことでお互いに助け合える。それを学ぶのに条件はないということを学んだ。</p>	<p>三A 谷口 隆人 おにぎりの話を聞き、もしあげた人の立場だったら、自分も良い事をした気持ちになると思う。でもそれが空回りすることがあるんだと分かった。 相手の事を考え、実際に話してみたりするのが大切だと思った。</p>
--	--	--

<p>三B 鈴木 陽向 ボランティアは義務じゃない。年齢も関係ない。自由に自分で決めるもの。ちょっとした当たり前のことでも毎日行なって、それを習慣にしちゃう。いつか絶対に社会に役立つ。 全員みんな社会に役立っているし大切にされている。そして自分の判断で新しい社会はできる。新しい社会は見える。新しい自分も見える。小さいことでも大きなことでも、自分にできることはある。</p>	<p>三C 川村 愛 学校でしているボランティアだけで考えてしまうと、すごく小さな考えになってしまいうけど、社会に出て社会に対するボランティアというのは、とても深いと思った。 ボランティアは自分以外の人のためと想っていたけど、自分のためでもあるのかなと思った。相手が喜んでくれて自分も嬉しくなるのはもちろんだけど新しい自分を見つけるためにやるのも良いかなと思った。</p>	<p>三D 佐々 敦 ボランティアは、自分のため、地域のため、社会のためにやっている、という人がいると思う。でも僕は、ボランティアというのは、自信がもてる活動だと思った。 ボランティアによって人から信頼を得ると、その信頼は自信へと変わる。頼りにされると、それに応えるために頑張ろうと努力する。</p>	<p>三B 浜口 すす 自分のボランティアを振り返ってみると、自分の行動の成果「ばかりに注目していたことに気が付いた。これからは、自分はどう変わるか」にも目を向けようと思った。 現状に満足せずに、考え、実現するために行動を起こすことも、社会貢献の始めの一歩なのでは？</p>
---	--	--	---

三B 田村 小春
今回の講座はボランティアと社会について、しっかり考え直すきっかけとなった。話し合うと自分と似た意見、違う意見があり、様々な考えを知ることができた。

三C 本 智恵
社会」というと大きな話に聞こえるが、意外と自分が関わっているものだと思う。自分ができることをやって、誰かのためになつたらいいと思うし、そういう小さい事も、積み重なって社会につながっていくのだと思う。

三D 舟木 太洋
ボランティアは地域でやると思っていたが、社会という視野で見たらたくさんある。やったことがないからという理由で失敗を恐れていたのだ。その失敗を次に生かすことが大切だと知った。

三C 菊地 柚花
義務じゃなくて、自分のしたいこと、ためになること。でも自己満足じゃダメ。家族構成や学年が違う人と話すときちょっとした一歩について自分が考えなかった事がたくさんでてきた。身近な事でこんなことができることがあるんだと思った。

三B 岡本 莉里花
他の人の意見を聞き、ボランティアは地域を美しくするのだと感じた。また挨拶や友達を助けるなど、当たり前な事をやるのはすごく大事だと思う。

三A 榎本 ありさ
ボランティアは自己満足や高校受験のためではなく、周囲のため、自分が変わるためだと思う。大人になってからでいいやとあきらめるのではなく「今」を考えるのは難しいけど、考えながらボランティアをしていけたらいい。

三A 榎本 ありさ
ボランティアを自分からやるのはかなり勇気があると思っていたけど、同じグループのメンバーや講師のお話を聞いてそれが変わりました。



マクジルトンさんより「最初は自己満足でもいいんじゃない。失敗して気が付いたら、関わって工夫していけばいいよ。」

連携小学校との交流

中瀬中では連携小学校（桃井第五小学校、八成小学校）の児童と生徒の交流を進めています。今年度はこれまでも行ってきた「合同挨拶運動」「杉並未来サミットの合同ポスターセッション」「小中学生環境サミットへの取組と合同発表」に加え、

- ① 小学校の連合運動会に向け、桃五・八成の参加生徒が中瀬中陸上部と合同練習。(10/26)
 - ② 図書委員が小学1年生の教室に行き絵本の読み聞かせなどの授業協力。桃五(11/22)、八成(2/27)
 - ③ 吹奏楽部が八成小の体育館で4～6年生の前で演奏するなどの授業協力。(12/21)
- など新しい取組を行いました。



＜それぞれの楽器紹介も吹奏楽部の生徒がしました＞

＜八成小体育館 吹奏楽の演奏＞



＜桃五小の1年生からのメッセージ＞

来年度は、近隣の沓掛小学校とも児童・生徒の連携を進めていこうと考えています。

二C 図書委員 山本 悦史
練習を始めた頃は、ペアの人が練習に來なくて、ほとんど一人で内容を決めました。出す謎々を選んだり、読む順番を決めたりです。一週間前になるとペアの人もほぼ毎日の様に練習してくれるようになりました。なので本番も練習と変わらず、緊張しないで読む事ができました。初めは面倒でしたが、終わった後に子供たちが笑顔で感想を言ってくれたのを見てとても嬉しくて、やって良かったと思えました。またやってみたいです。

二D 図書委員 轡田 晃
僕は初め、このイベントはいよいよや参加して、練習もあまり印象に残らないから忘れてしまうこともありました。しかし当日が近づくと練習に参加して、どんどん上手くなっていくのが自分でも感じられるくらいでした。本番、知らない一年生にやや緊張しつつも、ノーマスで読み切り、自分でも満足したし、一年生も喜んでくれたので良かったです。

第三回 中瀬言葉の検定

1月12日の土曜授業はICT公開授業とともに、40名の保護者と学校支援本部の協力で今年度最後の『中瀬言葉の検定』に取り組みます。

2・3年生は2年目になり40全部の暗唱に、田中 梨桜さん(3A)、椿 右京君(2A)、坂上 優太君(2B)、椿 左京君(2C)、高野 夏帆さん(2C)が成功し、2級(30以上)も20人になりました。また今年から挑戦の1年生も2級が2人、3級(20以上)が20人です。40全部の暗唱を達成した4人には、天沼言霊百選から高野さんが選んだ『中瀬言葉の検定～上級編～』(これも40の暗唱)が渡されています。

1月の予定							⑤…スクールカウンセラー出勤日
日	月	火	水	木	金	土	
6	7	8	9	10	11	12	
		始業式		避難訓練		ICT公開授業 中瀬言葉の検定Ⅲ	
13	14	⑤ 朝礼 15	午前授業 16	17	漢字検定 18	19	
	成人の日	安全指導	あいさつ運動		百人一首(1,2)		
20	21	⑤ 22	職員会議 23	24	英語検定 25	ウインターコンサート26	
	理科出前授業(1)	移動教室前健診	都立推薦出願			都立推薦入試	
27	28	⑤ 29	30	31	2/1	2/2	
都推入試			冬季移動教室(2)			→	

<2月の予定> 14(木) 新入生保護者説明会、15(金) 2年和楽器体験、16(土) 1年お仕事見本市
25(月)～27(水) 学年末考査、27(水) 図書委員八成小1年生に読み聞かせ

文武両道

部活や駅伝の活躍と共に、文化面でも中瀬中の生徒が活躍しています。杉並子どもサイエンスグランプリには16点の研究が出品され、岩田 真さん(2C)の「音(共鳴)の研究」が優秀賞に輝きました。また荻窪間税会の税の標語では、三田 怜奈さん(1A)の「納税は 自分のためと人のため みんなで守ろう みんなの暮らし」が佳作に選ばれました。ここで杉並区立中学校連合文化祭の書評座談会とTokyo Global Gateway を体験した生徒の声を紹介します。

『こんとんじいちゃんの裏庭』書評座談会
…私はこの本を通してたくさんのことを学べた。今までは一冊の本を、こんなに疑問や考えを掘り下げて読むことがなかった。良い経験ができたと思う。
この本は、わくわくするより考えさせる面白さがあり、他の人の意見を聞き、考えをより一層広げることができた。読み取るのも人それぞれで面白かった。
結末がはっきりしていない所も、作者が伝えたかった「人生ははっきりしないこともあるが、自分の意志を貫く正義もっている」ということを意見交換を通して学んだ。
これを機に、たくさん本で考えを広げ、本の面白さを知ってきたい。
(2C 古澤美紗)

Tokyo Global Gateway 体験記
コミュニケーションは難しい。相手の言った事に反応しないと会話が成り立たない。大きな声とジェスチャーが大事だと痛感した。でも「失敗を恐れずに挑戦する」ことも大事だと気が付いた。
“もっと話したかった”が一番の気持ちで、もっと listening 力があればと思った。悔いなく talk するためにも日頃から listening と talking をしまくる。(英語村では英語より日本語を多くしゃべってしまった。)
反省点もたくさんあるが楽しかったこともある。一番楽しかったのは Quickly Bite で、架空のメニューを自分たちで考えて頼んだことだ。“クレイジーなのでもOK”とエージェントの方から言われて考えたのも楽しかった。たくさん学べたので、無駄にしないようにしたい。
(2C 長元一葉)



<杉並駅伝チームと応援メンバー>



<杉並駅伝>

左：男子1区
小椋 陽仁(3B)
区間2位

右：女子1区
柴田采也可(2B)
区間2位

◎東京駅伝で杉並区の副キャプテン